

令和 2 年度(2020 年度)版

事業概要

(平成 31 年度(2019 年度)実績)

北海道渡島総合振興局
八雲食肉衛生検査所

目 次

第1章 北海道八雲食肉衛生検査所の概要

1 沿革	1
2 組織	1
3 事務分掌	1
4 施設の概要	
(1)と畜場の配置図	2
(2)と畜場の詳細	2
(3)案内図	3
(4)庁舎平面図	3

第2章 と畜検査業務の概要

1 年度別検査頭数	
(1)日本フードパッカー(株)道南工場と畜場	4
(2)名北ミート(株)函館工場	4
2 月別検査頭数	
(1)日本フードパッカー(株)道南工場と畜場	5
(2)名北ミート(株)函館工場	6
3 産地別検査頭数	7
4 産地別検査頭数割合(牛・豚)	
(1)日本フードパッカー(株)道南工場と畜場	9
(2)名北ミート(株)函館工場	9
5 と畜検査結果及び措置状況	
(1)全部廃棄及びとさつ・解体禁止	10
ア 日本フードパッカー(株)道南工場と畜場	10
イ 名北ミート(株)函館工場	10
(2)一部廃棄	
ア 日本フードパッカー(株)道南工場と畜場	11
イ 名北ミート(株)函館工場	13
6 病畜検査頭数	
(1)病畜と室使用状況	19

第3章 試験検査業務の概要

1 精密検査	
(1)項目別検査	20
(2)エキノコックス症の検査	20
2 抗菌性物質等検査	
(1)抗生物質	20
3 衛生管理に関する検査	21
4 牛枝肉の脳脊髄組織含有検査	21
5 BSEスクリーニング検査	21
6 調査研究に関する検査	21

第4章 食肉衛生対策業務の概要

1 衛生監視指導状況	
(1)と畜場	22
(2)附帯施設等	22
2 衛生教育と啓発	22

第5章 食肉検査データの還元状況

22

第6章 その他の業務

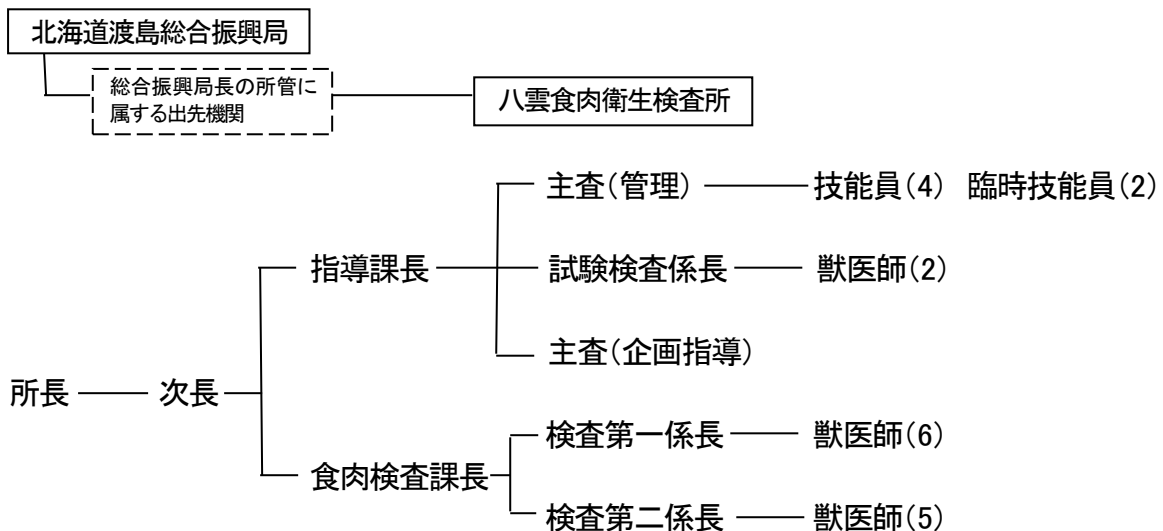
1 職員研修会及び技術研修会	
(1)職員研修会の開催	23
(2)各種技術研修会・会議等の出席状況	23
2 検体採取依頼状況	24
3 調査研究	
と畜場における豚の頭部外皮と舌の微生物汚染状況調査および衛生管理向上への取り組み	25

第1章 北海道八雲食肉衛生検査所の概要

1 沿革

- 昭和40年 12月 八雲町立道南畜肉センターが設置され、北海道八雲保健所衛生課食品乳肉係が食肉検査業務を所掌。
- 昭和51年 1月 同センターが道南日本ハム(株)に譲渡され、道南日本ハム(株)と畜場を開設。
- 昭和61年 5月 検査頭数の増加に伴い、衛生課に食肉検査係を新設。
- 平成 5年 4月 検査体制を強化するため、「北海道八雲保健所 八雲食肉検査事務所」(保健所地方機関)を設置。
- 平成 8年 7月 道南日本ハム(株)等日本ハムグループ食肉処理会社が合併し、日本フードパッカー(株)を設立。
- 平成10年 4月 道立保健所再編整備に伴う機構改革により、「北海道八雲食肉衛生検査所」と名称変更し、保健所長の所管に属する出先機関として機能強化。
- 平成16年 4月 支庁組織機構の見直しにより、北海道渡島保健福祉事務所長の所管に属する出先機関に改正。
- 平成17年 4月 渡島保健所森支所から(株)ムッターハム函館工場の食肉検査業務が移管。
- 平成17年10月 (株)ムッターハム函館工場が廃止され、(株)坂本商事が同所に(株)坂本商事函館工場を開設。
- 平成21年 4月 (株)坂本商事函館工場が廃止され、名北ミート(株)が同所に名北ミート(株)函館工場を開設。
- 平成22年 4月 道の組織改正により、北海道渡島総合振興局長の所管に属する出先機関に改正。

2 組織 (平成31年4月1日現在の定員数)



3 事務分掌

- 指導課
 - ・検査所の管理運営及び庶務に関すること。
 - ・試験検査に関すること。
 - ・調査研究に関すること。
 - ・依頼検査に関すること。
 - ・と畜場の衛生管理に関すること。
 - ・食肉衛生に係る情報の収集、分析及び提供に関すること。
 - ・関係機関・団体との連携に係る企画立案に関すること。
 - ・職員に対する専門的研修等に係る企画立案に関すること。
- 食肉検査課
 - ・と畜場法に係る許認可事務等に関すること。
 - ・と畜検査に関すること。
 - ・食品衛生に関すること。
 - ・化製場等の衛生に関すること。
 - ・水の衛生に関すること。
 - ・汚水・汚物処理施設の監視指導に関すること。
 - ・食肉の輸出に関すること。

4 施設の概要

(1) と畜場の配置図



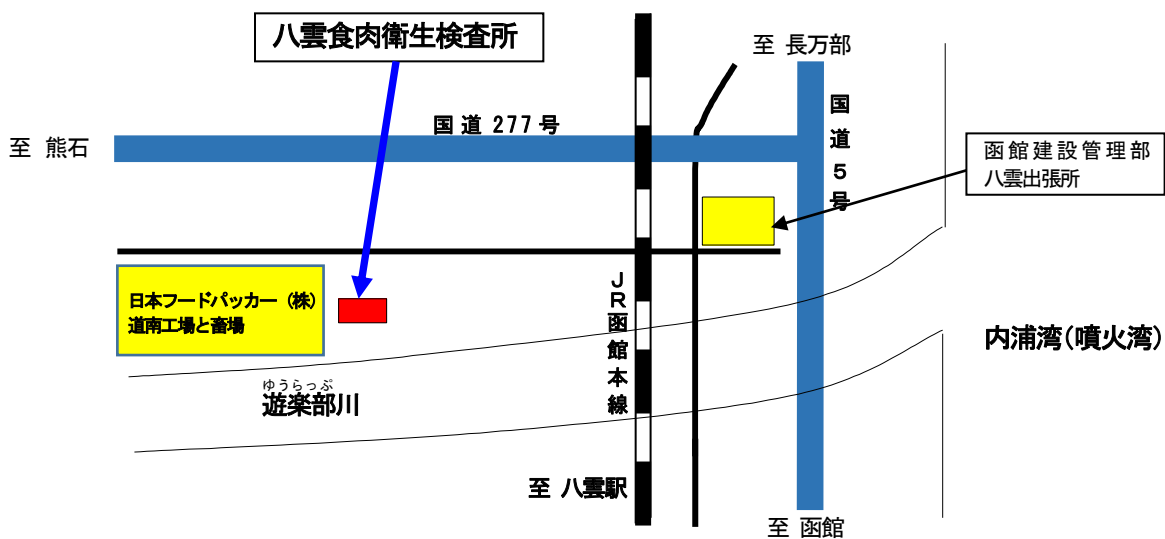
(2) と畜場の詳細

と畜場名	検査機関名	所在地	指定番号	一般・簡易の別	処理能力 (小動物換算 ^{*1})	設置許可年
日本フードパッカー(株) 道南工場と畜場	北海道八雲食肉衛生 検査所	二海郡八雲町 立岩 356 番地	46	一般	1,090 頭/日	平成 8 年
名北ミート(株)函館工場		茅部郡森町字 姫川 121 番地の 1	5	一般	111 頭/日	平成 21 年

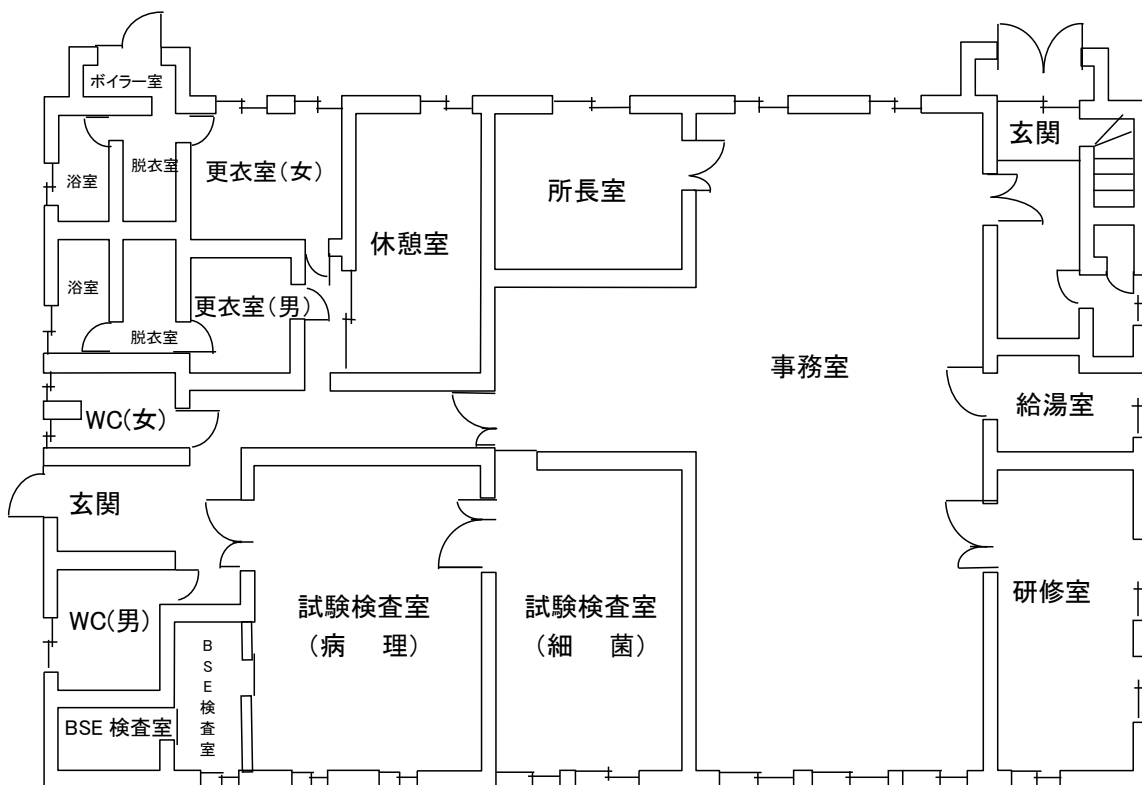
*1: 小動物換算頭数=(牛(1ヶ月以上)+馬)×3+その他の畜種

(3) 案内図

所在地： 〒049-3123 北海道二海郡八雲町立岩 356 (TEL: 0137-63-2480 FAX: 0137-63-2490)



(4) 庁舎平面図



建物面積 379m²
建物構造 木造

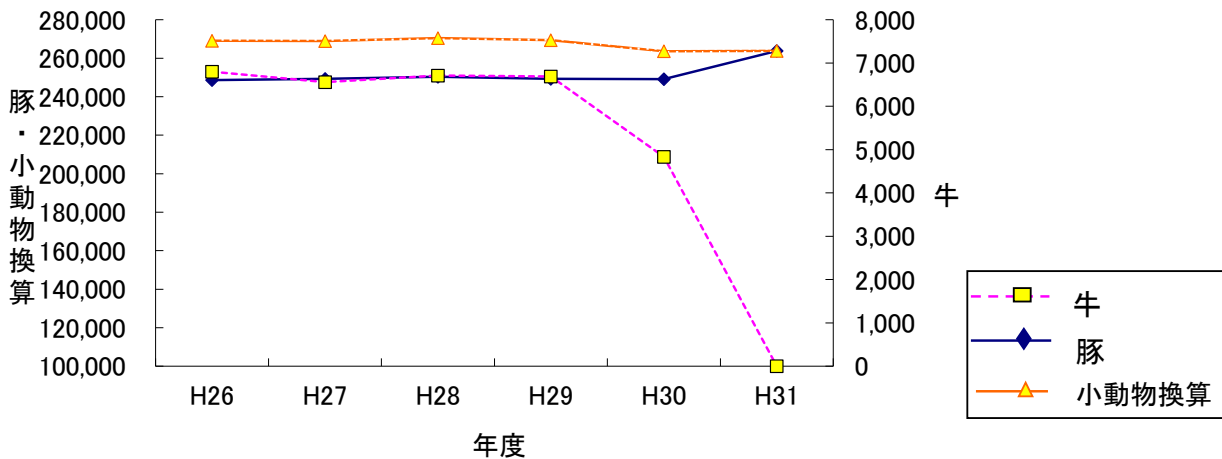
第2章 と畜検査業務の概要

1 年度別検査頭数

(1) 日本フードパッカー(株)道南工場と畜場

畜種 年度	牛				馬				豚	めん羊	やぎ	計	小動物 換算頭数 (*)	
	肉用種	乳用種		1月以上1 年未満	1月 未満	牛 合計	1年 以上	1年 未満						馬 合計
		肥育	その他											
H26	247	614	5,465	473		6,799					248,612		255,411	269,009
H27	160	565	5,489	344		6,558					249,310		255,868	268,984
H28	57	542	5,693	419		6,711					250,318		257,029	270,451
H29	79	546	5,734	332		6,691					249,273		255,964	269,346
H30	70	294	4,205	264		4,833					249,100		253,933	263,599
H31											263,761		263,761	263,761

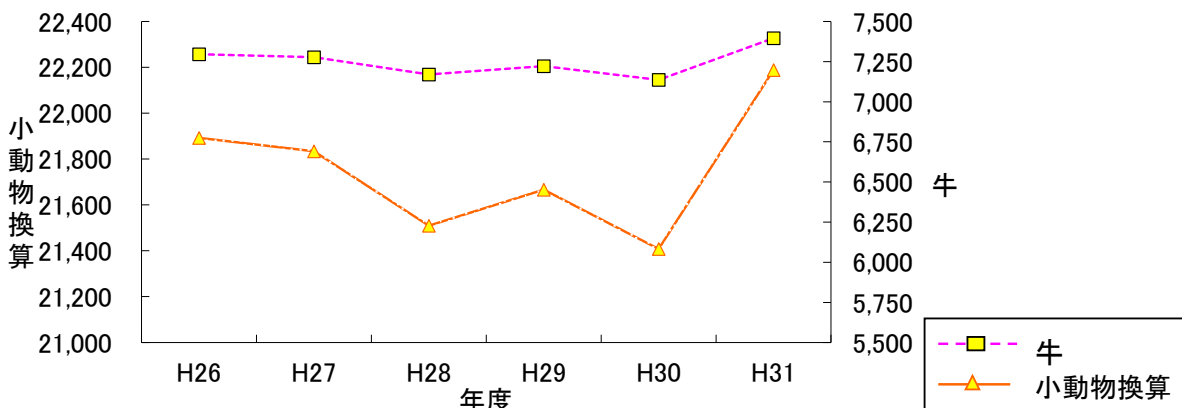
* 小動物換算頭数=(牛(1ヶ月以上)+馬)×3+その他の畜種



(2) 名北ミート(株)函館工場

畜種 年度	牛				馬				豚	めん羊	やぎ	計	小動物 換算頭数 (*)	
	肉用種	乳用種		1月以上1 年未満	1月 未満	牛 合計	1年 以上	1年 未満						馬 合計
		肥育	その他											
H26	989	6,039	81	187		7,296				4		7,300	21,892	
H27	962	6,018	177	121		7,278						7,278	21,834	
H28	1,080	5,824	131	135		7,170						7,170	21,510	
H29	1,174	5,858	86	104		7,222						7,222	21,666	
H30	1,176	5,737	117	106		7,136						7,136	21,408	
H31	1,192	5,607	462	135		7,396						7,396	22,188	

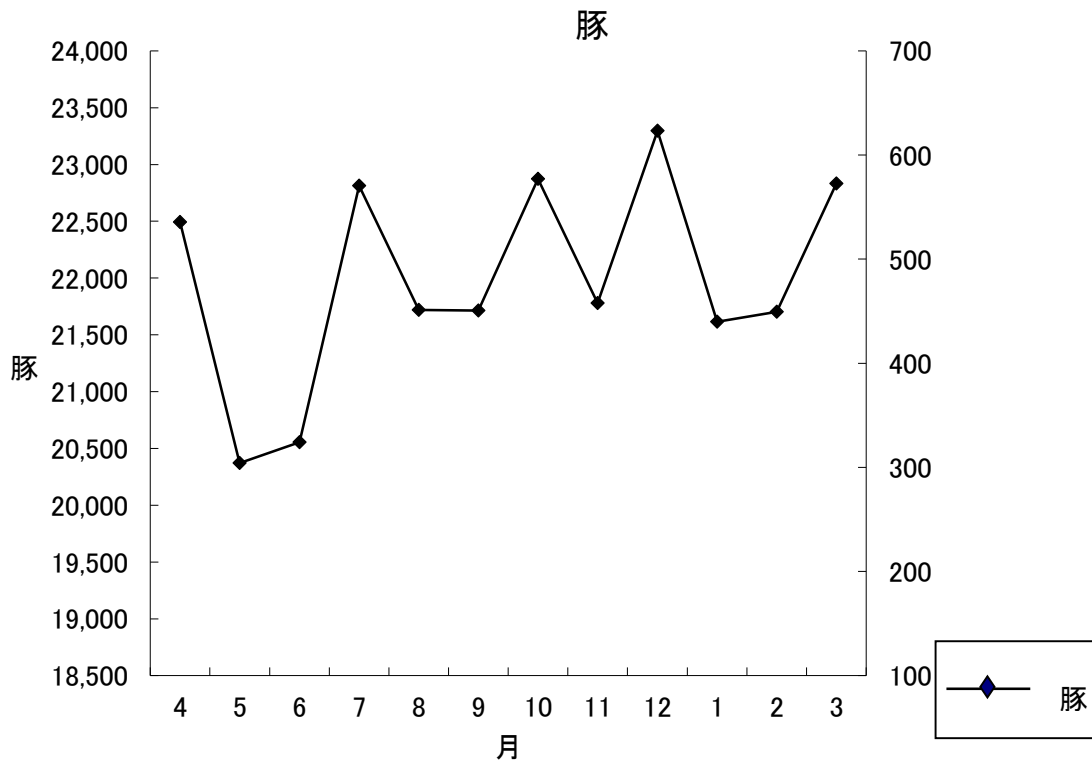
※平成14年6月27日～平成17年10月27日(株)ムッターハム函館工場、平成17年10月28日～平成21年3月31日(株)坂本商事函館工場、平成21年4月1日～名北ミート(株)函館工場



2 月別検査頭数

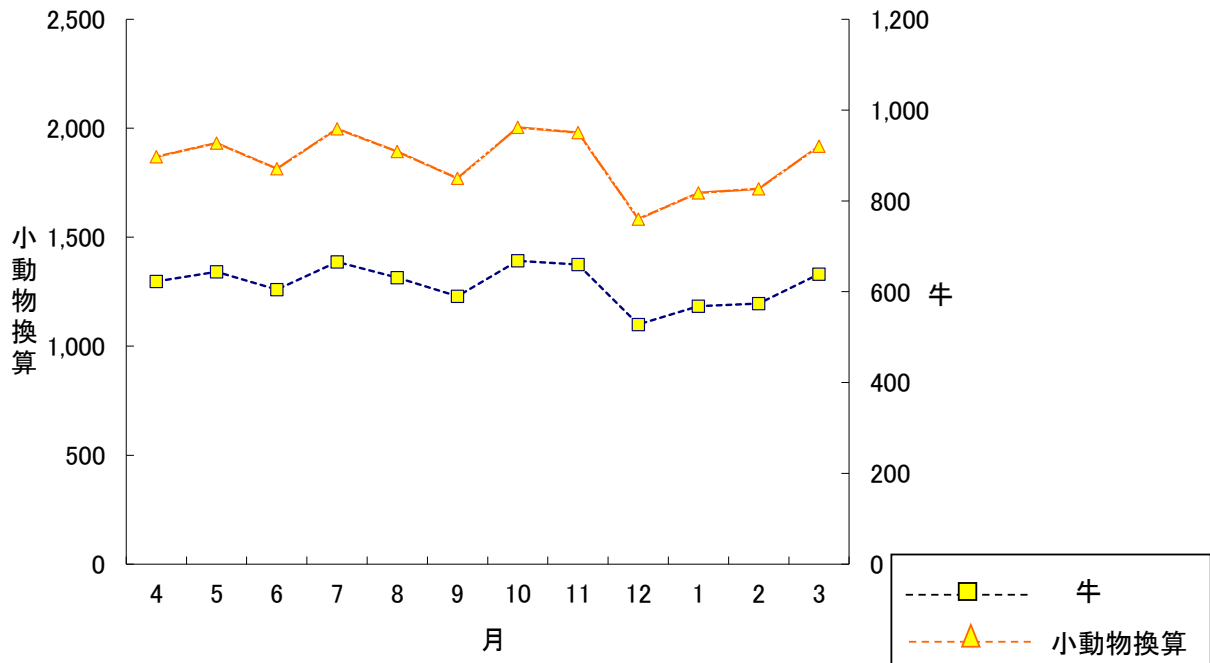
(1) 日本フードパッカー(株)道南工場と畜場

畜種 月	牛					馬			豚	めん羊	やぎ	合計	小動物 換算 頭数	開場 日数
	1年以上		1月以上 1年未満	1月 未満	牛合計	1年 以上	1年 未満	馬 合計						
	肉用種	乳用種												
	肥育	その他												
4									22,492			22,492	22,492	22
5									20,371			20,371	20,371	20
6									20,554			20,554	20,554	20
7									22,813			22,813	22,813	22
8									21,720			21,720	21,720	20
9									21,714			21,714	21,714	20
10									22,873			22,873	22,873	21
11									21,778			21,778	21,778	20
12									23,296			23,296	23,296	22
1									21,615			21,615	21,615	20
2									21,704			21,704	21,704	20
3									22,831			22,831	22,831	21
計									263,761			263,761	263,761	248



(2) 名北ミート(株)函館工場

畜種 月	牛					馬			豚	めん羊	やぎ	合計	小動物 換算 頭数	開場 日数	
	肉用種	1年以上		1月以上 1年未満	1月 未満	牛合計	1年 以上	1年 未満							馬 合計
		乳用種													
		肥育	その他												
4	96	488	26	13	623						623	1,869	20		
5	110	479	40	15	644						644	1,932	21		
6	107	466	27	5	605						605	1,815	20		
7	113	498	39	16	666						666	1,998	22		
8	99	482	41	9	631						631	1,893	21		
9	104	452	33	1	590						590	1,770	19		
10	119	506	28	15	668						668	2,004	21		
11	141	448	49	22	660						660	1,980	20		
12	95	385	32	16	528						528	1,584	17		
1	46	480	40	2	568						568	1,704	19		
2	84	445	43	2	574						574	1,722	18		
3	78	478	64	19	639						639	1,917	21		
計	1,192	5,607	462	135	7,396						7,396	22,188	239		



3 産地別検査頭数

区分 産地	日本フードパッカー(株)道南工場と畜場							名北ミート(株)函館工場							合 計							
	牛(1年以上)			牛 (1年未満)	馬	豚	めん・山羊	牛(1年以上)			牛 (1年未満)	馬	豚	めん・山羊	牛(1年以上)			牛 (1年未満)	馬	豚	めん・山羊	
	肉用種	乳用肥育	乳用他					肉用種	乳用肥育	乳用他					肉用種	乳用肥育	乳用他					
渡島管内	福島町							14		3	2				14		3	2				
	北斗市							102	1	1	33				102	1	1	33				
	木古内町									1							1					
	七飯町							144	1,685	44	1				144	1,685	44	1			3,178	
	森雲町							76,486		2					76,486		2				76,486	
後志管内	八雲町							16	517	86	6				16	517	86	6			38,840	
	長万部町							26,600	1	2					26,600	1	2				26,600	
	計							145,104		139	42				145,104		139	42			145,104	
	江差町																					1,220
	上ノ国町																					3,516
檜山管内	厚沢部町							286	1,225		1				286	1,225		1				
	せたな町							11	25	142	8				11	25	142	8				
	今金町									13							13					15,692
	計							297	1,250	155	9				297	1,250	155	9				20,428
	黒松内町									13	1						13	1				27,131
北海道内の他の管内	留寿都別町																					17,108
	喜茂別町																					2,701
	京極安町																					3,180
	倶知安町																					6,332
	仁木市																					756
道外計																					9,135	
道外計																						66,343
北海道内の他の管内	石狩管内計							1		1					1		1					
	空知管内計							262	25	1					262	25	1					
	上川管内計							216	955	2	60				216	955	2	60				
	留萌管内計							13							13							
	宗谷管内計																					
	オホーツク管内計							1	2	11					1	2	11					
	胆振管内計							31		1					31		1					21,940
	日高管内計							85	8	102	18				85	8	102	18				9,946
	十勝管内計							10	1,150	2	6				10	1,150	2	6				
	釧路管内計																					
根室管内計																						17
道外計																						8
合計								1,192	5,607	462	135				1,192	5,607	462	135				263,761

4 産地別検査頭数割合(牛・豚)

(1) 日本フードパッカー(株)道南工場と畜場

区分 産地	豚	
	頭数	%
石狩管内		
渡島管内	145,104	55.0
檜山管内	20,428	7.7
後志管内	66,343	25.2
空知管内		
上川管内		
留萌管内		
宗谷管内		
オホーツク管内		
胆振管内	21,940	8.3
日高管内	9,946	3.8
十勝管内		
釧路管内		
根室管内		
道外		
計	263,761	

(2) 名北ミート(株)函館工場

区分 産地	牛(1年以上)						牛(1年未満)		牛小計	%
	肉用種		乳用種				頭数	%		
	頭数	%	肥育		その他					
頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%			
石狩管内	1	0.1			1	0.2			2	0.0
渡島管内	276	23.2	2,204	39.3	139	30.6	42	31.1	2,661	36.0
檜山管内	297	24.9	1,250	22.3	155	34.1	9	6.7	1,711	23.1
後志管内			13	0.2	17	3.7			30	0.4
空知管内	262	22.0	25	0.4	1	0.2			288	3.9
上川管内	216	18.1	955	17.0	2	0.4	60	44.4	1,233	16.7
留萌管内	13	1.1							13	0.2
宗谷管内										
オホーツク管内	1	0.1	2	0.0	11	2.4			14	0.2
胆振管内	31	2.6			1	0.2			32	0.4
日高管内	85	7.1	8	0.1	102	22.5	18	13.3	213	2.9
十勝管内	10	0.8	1,150	20.5	2	0.4	6	4.4	1,168	15.8
釧路管内					6	1.3			6	0.1
根室管内					17	3.7			17	0.2
道外					8	1.8			8	0.1
計	1,192		5,607		462		135		7,396	

5 と畜検査結果及び措置状況

(1)全部廃棄及びとさつ・解体禁止

ア 日本フードパッカー(株)道南工場と畜場

①全部廃棄

畜種 疾病別	牛 (1年以上)	牛 (1年未満)	豚	馬	めん羊 やぎ	計
豚丹毒	/	/	5	/	/	5
敗血症	/	/	34	/	/	34
高度の水腫	/	/	4	/	/	4
高度の黄疸	/	/	6	/	/	6
白血病	/	/	6	/	/	6
膿毒症	/	/	7	/	/	7
計	/	/	62	/	/	62

②とさつ・解体禁止

該当無し

イ 名北ミート(株)函館工場

①全部廃棄

畜種 疾病別	牛 (1年以上)	牛 (1年未満)	豚	馬	めん羊 やぎ	計
豚丹毒	—	—	/	/		
敗血症	6		/	/		6
高度の水腫	3		/	/		3
高度の黄疸	3	1	/	/		4
白血病	2		/	/		2
膿毒症	2	1	/	/		3
尿毒症	1	1	/	/		2
計	17	3	/	/		20

②とさつ・解体禁止

該当無し

6 病畜検査頭数

(1) 病畜と室使用状況

なし

第3章 試験検査業務の概要

1 精密検査

(1) 項目別検査

項目 畜種	頭数	検体数	件数内訳				延件数	検査後措置		
			病理	細菌	理化学	寄生虫		と殺禁止	全部廃棄	一部廃棄
牛 (1年以上)	13	38	14	14	10	0	38	0	9	4
牛 (1年未満)	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0
馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豚	101	558	125	420	13	0	558	0	81	20
めん羊・山羊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	115	597	139	434	24	0	597	0	91	24

(2) エキノコックス症の検査（病理の一部再掲）

項目 畜種	頭数	検体数	検査結果	
			陽性頭数	陰性頭数
馬	0	0	0	0
豚	6	6	2	4
牛	0	0	0	0
めん羊・山羊	0	0	0	0
計	6	6	2	4

2 抗菌性物質等検査

(1) 抗生物質

項目 畜種	頭数	検体数	件数	陽性頭数
牛 (1年以上)	12 (8)	12 (8)	36 (24)	0 (0)
	12 (8)	12 (8)	36 (24)	0 (0)
牛 (1年未満)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
馬	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
豚	44 (15)	44 (15)	132 (45)	0 (0)
	44 (15)	44 (15)	132 (45)	0 (0)
めん羊・山羊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	56 (23)	56 (23)	168 (69)	0 (0)
	56 (23)	56 (23)	168 (69)	0 (0)

- ①術式は簡易検査法
- ②下段はモニタリング検査の再掲
- ③()は他機関からの依頼数（再掲；上川総合振興局名寄地域保健室・日高食肉衛生検査所分）

3 衛生管理に関する検査

項目 検体	検体数	内 訳				延件数
		一般生菌数	大腸菌群	〇157	その他	
枝 肉	445	170	170	20	85	445
食 肉	0	0	0	0	0	0
施設・器具等	166	83	83	0	0	166
計	611	253	253	20	85	611

4 牛枝肉の脳脊髄組織含有検査

畜種	検体数	陽性	陰性
牛	48	0	48

5 BSE スクリーニング検査

畜種	検査頭数	確認検査	陽性確定
牛	0	0	0

6 調査研究に関する検査

項目 検体	検体数	内 訳				延件数
		病 理	細 菌	理 化 学	寄 生 虫	
枝 肉	0	0	0	0	0	0
臓 器*1	34	26	8	0	0	34
器 具 等	0	0	0	0	0	0

*1：ローソニア保菌率調査（材料：豚小腸回盲部）を含む。

第4章 食肉衛生対策業務の概要

1 衛生監視指導状況

(1) と畜場

内 容	日本フードパッカー(株)道南工場	名北ミート(株)函館工場
自主衛生管理の査察	12 回	12 回

(2) 附帯施設等

施 設	延監視件数	
	日本フードパッカー(株)道南工場	名北ミート(株)函館工場
給水施設	1 回	1 回
汚水処理施設	1 回	1 回
化製場法8条準用施設(皮革貯蔵施設)	1 回	1 回
食品営業許可施設(食肉処理業)	4 回	2 回
食品営業許可施設(食用油脂製造業)	1 回	
従業員食堂	3 回	
合 計	11 回	5 回

2 衛生教育と啓発

各種研修会及び会議の開催

年 月 日	会 議 ・ 研 修 会 名	開催地
令和元年 11 月 30 日 令和 2 年 2 月 16 日	衛生講習会 衛生講習会	八雲町 森町

第5章 食肉検査データの還元状況

畜 種	還元件数	内 訳				
		生産者	行政機関	試験機関	臨床獣医師	その他
豚	164	152	12	—	—	—
牛	—	—	—	—	—	—

第6章 その他の業務

1 職員研修会及び技術研修会

(1) 職員研修会の開催

月日	研修会名又は研修内容
5.23	食肉検査課勉強会
6.5	北海道獣医師会公衆衛生講習会及び道南ブロック生活衛生監視指導班研修会伝達講習
6.13	コンプライアンス研修
6.19	食肉検査課勉強会
7.30	食肉検査課勉強会
8.6	三学会発表予演会
9.3	食肉検査課勉強会
9.26	食肉検査課勉強会
10.7	食肉検査課勉強会
10.29	食肉検査課勉強会
11.13	試験検査業務について
11.28	微生物研修伝達講習
12.10	簡潔ワンペーパー研修伝達講習
12.20	食肉検査課勉強会
12.24	食肉検査課勉強会
1.15	日胆ブロック生活衛生監視指導班研修伝達講習
1.28	食肉検査課勉強会
1.30	中央ブロック生活衛生監視指導班研修伝達講習
2.26	メンタルヘルス・人事評価研修
2.27	食肉検査課勉強会
3.10	と畜場法施行規則改正等について
3.30	と畜場における海外悪性伝染病及びそれに準ずる疾病の防疫対応について

(2) 各種技術研修会・会議等の出席状況

月日	研修・会議名	開催地
4.16-4.20	新規採用職員 I (前期) 研修(第1回)	札幌市
5.10-5.11	新任主任級研修	札幌市
5.28	再任用職員研修	函館市
6.25-6.26	新任主任級研修	札幌市
6.27	渡島総合振興局新規採用職員研修(第1回)	函館市
7.5	保健福祉部独自研修(若手職員研修)	函館市
7.24-7.25	新規採用等と畜・食鳥検査員研修会	札幌市
9.4-9.5	コミュニケーション能力向上研修	函館市
9.20-9.21	食肉・食鳥肉病理組織検査担当者育成研修会	帯広市
10.12	グループワーク研修	函館市
11.16	渡島総合振興局新規採用職員視察(体験)研修	函館市・鹿部町
11.21-11.22	中央ブロック生活衛生監視指導班研修	岩見沢市
12.18	「食品衛生法等の一部を改正する法律」に基づく政省令案の検討状況に関する説明会	札幌市
11.29	情報セキュリティ対策及びソフトウェア資産管理に関する研修	函館市
11.29	道南ブロック食品衛生・環境衛生監視員業務研修会	函館市
1.16	渡島 HACCP 基礎講習会	函館市
1.16-1.17	HACCP による食品の衛生管理に係る食品衛生監視員講習会	札幌市
1.18	対米・対 EU 輸出水産食品に係る指名食品衛生監視員養成講習会	札幌市
2.6-2.7	胆日ブロック生活衛生監視指導班研修	室蘭市
2.13-2.14	渡島ブロック生活衛生監視指導班研修	函館市

2. 25	渡島総合振興局新規採用職員研修(第2回)	函館市
2. 28-3. 1	後志ブロック生活衛生監視指導班研修	倶知安町
3. 7-3. 8	北海道立衛生研究所調査研究発表会	札幌市
3. 8	保健福祉部職員支援室業務に係る説明会議	Web会議
3. 11-3. 12	上川ブロック生活衛生監視指導班研修	旭川市
3. 14-3. 15	十勝ブロック生活衛生監視指導班研修	帯広市

2 検体採取依頼状況

研究・行政機関等から調査・研究のための採取依頼について協力。

依頼者	検体	検体数
行政機関	豚血清	20

3 調査研究

と畜場における豚の頭部外皮と舌の微生物汚染状況調査および衛生管理向上への取り組み

北海道八雲食肉衛生検査所 ○澤尚樹、笹谷優子、黒田裕介、浪岡幸代、大野博士、
泉田真樹、足立泰基、山本靖典
北海道倶知安保健所 竹下日出夫
北海道立衛生研究所 大野祐太、池田徹也

1 はじめに

平成 30 年 6 月食品衛生法等の一部を改正する法律の公布に伴い、と畜場法の一部が改正され、と畜場における HACCP に沿った衛生管理が制度化される。これにより、枝肉だけではなく内臓においても、食品衛生上の危害の発生を防止することが強く求められている。

当所所管と畜場の豚のと殺解体作業では、区画されたコンベア上のバットに内臓と頭部が隣接して置かれているが、不適切な解体作業により、各区画から内臓あるいは頭部がはみ出し、互いに接触することが多く認められる。また舌は内臓とともに摘出されるため、内臓への微生物汚染が懸念される。

と殺解体作業工程の危害要因として、食中毒菌による汚染状況を把握することは食の安全性を確保する上で重要である。当所は過去の調査において、豚直腸便からサルモネラ属菌を多数分離しており（表 1）、分離された血清型と同じ血清型の株が北海道内のヒトと家畜で数多く分離されていることを報告した。

今回内臓を汚染する可能性のある頭部外皮と舌について、一般生菌、大腸菌群およびサルモネラ属菌による汚染状況ならびに直腸便のサルモネラ属菌保菌状況を調査した。調査結果をもとに、衛生的なと殺解体作業を指導し、指導前後で改善状況を確認したため、その成果について報告する。

2 材料および方法

一般生菌数、大腸菌群数検査：頭部外皮と舌の拭き取り検体を材料として、混釈培養法により単位面積当たりの菌数を算出した。

サルモネラ属菌検査：頭部外皮と舌の拭き取り検体および直腸便を材料として、定法による菌分離を行い、菌分離株の生化学的性状試験、血清型別試験を実施した。

衛生的作業の評価：指導後の内臓と頭部のはみ出し回数を測定し、指導前と比較することで、作業の改善を評価した。

表 1 直腸便における

サルモネラ属菌の分離率

	分離数	分離率 (%)
H28	4 / 49	8.2
H29	24 / 145	16.5
H30	7 / 310	2.2

3 成績

一般生菌数、大腸菌群数結果：一般生菌数が 10^3 cfu/cm² 以上となった検体は、頭部外皮で 86.7%(39/45)、舌で 84.4%(38/45)であった。大腸菌群数が 3cfu/cm² 以上となった検体は、頭部外皮で 77.8%(35/45)、舌で 80.0%(35/45)であった（図 1）。

サルモネラ属菌検査結果：サルモネラ属菌の分離率は、直腸便で 2.4%(2/85)、頭部外皮で 0.8%(1/130)、舌で 0%(0/45)であり（表 2）、分離した株はすべて同じ血清型であった。

衛生的作業の評価：内臓がはみ出した割合は、指導前で 19.4%(99/510)、指導後で 14.6%(80/548)であった。頭部がはみ出した割合は、指導前で 11.6%(59/510)、指導後で 3.5%(19/548)であった（図 2）。

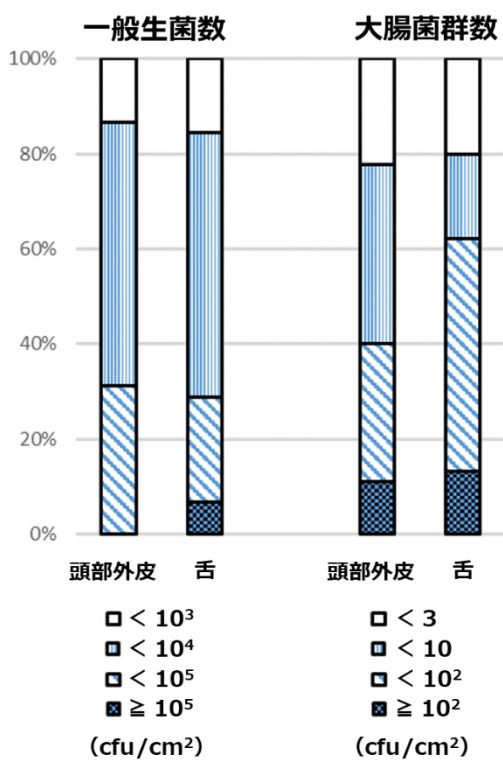


図 1 微生物検査結果

表 2 サルモネラ属菌検査結果

検体の種類	分離数	分離率 (%)
頭部外皮	1 / 130	0.8
舌	0 / 45	0
直腸便	2 / 85	2.4

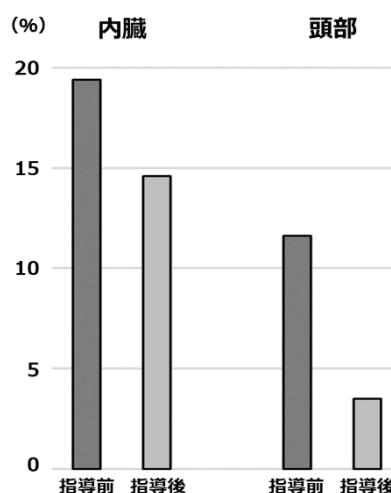


図 2 指導前後のはみ出し割合

4 考察

と畜場における HACCP 導入のためには危害要因を把握することが重要である。と殺解体作業における内臓を汚染する要因として、外皮や舌との接触によるものが考えられる [1]。外皮は糞便に著しく汚染されており [2]、糞便中から食中毒菌であるサルモネラ属菌が分離されているという報告が多数ある [3, 4]。また、舌はサル

モネラ属菌に著しく汚染されており、内臓と同時に摘出しないよう衛生的な対策が必要であると報告されている [5, 6]。当所所管と畜場では、内臓あるいは頭部が所定の位置に摘出されないことにより、互いに接触することが多く認められた。また、舌と内臓はつながったまま摘出されている。頭部外皮と舌は微生物による汚染が高度に認められたことから、内臓への汚染拡大が示唆された。また、頭部外皮からサルモネラ属菌が分離され、その個体の直腸便からも、同じ血清型の菌が分離されたため、糞便による汚染が示唆された。今回の調査結果をもとに、と畜場へ指導したところ、内臓と頭部のはみ出し割合は減少した。これは、作業者の衛生意識が改善したと思われる。舌については、肥育豚は付加価値の高い製品にする都合上、現状では内臓と舌を分けて摘出することは困難であると回答を得たが、繁殖豚においては、別々に処理できるようになり、と殺解体作業工程の一部改善が認められた。今後も微生物汚染状況を把握し、衛生管理向上のため指導を継続していきたい。

5 引用文献

- [1] Letellier A, Beauchamp G, Guevremont E, D`Allaire S, Hurnik D, Quessy S: Risk factors at slaughter associated with presence of Salmonella on hog carcasses in Canada, J FOOD PROTECT, 72, 23226-2331 (2009)
- [2] Costa RD, Silva V, Leite A, Vieira-Pinto M: In the slaughterhouse, how can the first carcasses be more contaminated with Enterobacteriaceae and E.coli than the last ones?, Safe Pork, 225-229 (2015)
- [3] 高田勇人, 井上伸子, 天田貴昌, 信澤繁夫, 中嶋 隆, 石岡大成, 藤田雅弘, 森田幸雄: 豚におけるサルモネラの保菌状況と分離菌の血清型, 薬剤感受性およびゲノム型, 日獣会誌, 61, 65-69 (2008)
- [4] Arguello H, Alvarez-Ordóñez A, Carvajal A, Rubio P, Prieto M: Role of slaughtering in Salmonella spreading and control in pork production, J Food Prot, 76, 899-911, (2013)
- [5] Vieira-Pinto M, Vieira MJ, Oliveira M, Fontes MC, Themudo P, Semedo-Lemsaddek T: Salmonella sp. in edible offal (liver and tongue) from pigs slaughtered for consumption, Safe Pork, 202-205 (2011)
- [6] Fredriksson-Ahomaa M, Korte T, Korkeala H: Contamination of carcasses, offals, and the environment with yadA-positive Yersinia enterocolitica in a pig slaughterhouse, J FOOD PROTECT, 63, 31-35 (2000)

令和2年度(2020年度)版 事業概要

(平成31年度(2019年度)実績)

令和2年(2020年) 5月発行

発行：北海道渡島総合振興局八雲食肉衛生検査所

〒049-3123 北海道二海郡八雲町立岩356

TEL: 0137-63-2480 FAX: 0137-63-2490

Email: yakumoho.yakushoku1@pref.hokkaido.lg.jp

URL: <http://www.oshima.pref.hokkaido.lg.jp/ds/yse/index.htm>